

(小弓公方展) 関連年表 (図録より)

和暦	西暦	月	房総・鎌倉府関連の出来事	月	国内の出来事
正慶 2(元弘 3)	1333			4 5	足利高氏(尊氏)が後醍醐天皇方に転じる。 六波羅探題滅ぶ。鎌倉で北条高時が自害、鎌倉幕府が滅亡する。
建武 2	1335			7	北条高時の遺児北条時行が鎌倉に入る。足利直義は護良親王を殺害し西走する(中先代の乱)。鎌倉將軍府が崩壊する。
建武 3	1336	10	千葉貞胤、足利氏に降伏。11月頃、千葉胤貞、三河国で没する。	11 12	足利尊氏が建武式目を制定する。 後醍醐天皇が吉野へ逃れる。
暦応元(延元 3)	1338			8	足利尊氏が征夷大將軍に任じられる。
貞和 5(正平 4)	1349	9	足利基氏が鎌倉に下向し鎌倉公方となる。足利義詮は京都へ向かう。		
観応元(正平 5)	1350	12	直義方が鎌倉公方足利基氏を高師冬から奪回、基氏は鎌倉に戻る。	10	観応の擾乱が始まる。
観応 2(正平 6)	1351			2	足利尊氏と足利直義が和睦。上杉能憲が高師直・師泰兄弟を殺害する。
文和元(正平 7)	1352			2	足利尊氏が、鎌倉で足利直義を毒殺する。
貞治 6(正平 22)	1367	4	足利基氏が没する。足利氏満が第2代鎌倉公方となる。	12	足利義詮が没する。足利氏満が第3代將軍となる。
康暦 2(天授 6)	1380	5	小山義政が下野で挙兵する。		
応永 23	1416	10	足利満隆・上杉氏憲(禪秀)が鎌倉で挙兵し、足利持氏・上杉憲基らと戦う(上杉禪秀の乱)。		
応永 24	1417	1	上杉禪秀が敗れ、鎌倉雪下で自害する。		
応永 25	1418	5	上総本一揆討伐のため、一色左近將監が鎌倉を發つ。		
応永 26	1419	2	上総本一揆の籠る坂水城を、木戸内匠助が軍勢を率い攻める。		
永享 10	1438	8	永享の乱が起こる。千葉胤直は足利持氏に和睦をするよう説得するも、持氏は応じなかったため、持氏方より離れる。		
永享 11	1439	2	千葉胤直が鎌倉永安寺に入り幽閉中の持氏に自害を迫る。持氏はその日に自害する。		
永享 12	1440			3	結城氏朝が持氏の遺児足利春王丸・安王丸兄弟を擁し、下総結城城で挙兵する(結城合戦)。
嘉吉元	1441			4 5	結城城が落城する。 足利春王丸・安王丸が美濃垂井で殺害される。
文安 4	1447	3	足利成氏が鎌倉公方となる。		
宝徳 2	1450	4	鎌倉で足利成氏と上杉軍が戦う。千葉胤将は成氏側として由比ヶ浜で戦う。	8	幕府は足利成氏と関東管領上杉憲忠・長尾景仲らを和睦させる。
享徳 3	1454	12	足利成氏方の里見義実・印東氏・武田信長ら、上杉憲忠を殺害する。		
享徳 4 康正元)	1455	3 8	上杉側に与した千葉胤直・宣胤父子を馬加康胤・原胤房らが千葉城から追う。胤直らは千田庄に籠る。 千葉宣胤・円城寺氏ら多古城(香取郡多古町)で戦死する。胤直は妙光寺(多古町)で自害する。	3	幕府、足利成氏討伐の御旗を得て、上杉房顕を関東管領に任じ下向させる。 成氏、古河に入る(古河公方の成立)。
康正 2	1456	1	千葉自胤・実胤は武蔵へ逃れる(市川城合戦)。		
永正 3	1506	4	足利高氏(高基)、宇都宮へ移座する(第1次政氏・高基抗争)。		
永正 7	1510	6	空然、武蔵大田庄(埼玉県久喜市)で蜂起する。足利政氏、空然の討伐を決める。		
永正 13	1516	8 11	三上但馬守、猪鼻(千葉市中央区)へ攻め寄せる。 伊勢宗瑞(北条早雲)、妙光寺(茂原市)に制札を出す。	12	足利政氏、祇園城(栃木県小山市)から岩付城(埼玉県さいたま市)へ移座する。

和暦	西暦	月	房総・鎌倉府関連の出来事	月	国内の出来事
永正 14	1517		真里谷武田氏は三上氏との抗争に伊勢宗瑞の軍勢「早雲衆」を招き入れる。	閏10	道長（足利政氏）が臼田太郎に宛てて書状を出す。義明と政氏との関係が良好であることがわかる。
永正 15	1518	7	11日、義明、高柳より総州へ出発する。	4	26日「高柳江仰合」道長書状。義明が高柳（埼玉県久喜市）に在所していることが分かる。
永正 16	1519	6 7 8	上総国佐貫郷（富津市）で大乱が起こる。 伊勢（北条）氏綱が妙光寺宛に制札を出す。 足利高基、義明側の椎津城（市原市）を攻める。		
永正 17	1520	6	義明側の里見義通、高基側の千葉氏の本拠本佐倉城を攻める。		
大永 4	1524	4	長南三河守宛高基書状によれば、上総国で足利義明を赦免するという噂が出ているとされる。		
大永 5	1525	2	26日以前 武田信清、上杉朝興の求めに応じ、北条氏綱と袂を分かち。		
大永 7	1527		北条氏綱と義明が和睦。千葉氏も義明の傘下に入る。		
享祿 4	1531		足利基頼、兄義明側につく。		
天文 2	1533	7 9	里見義豊、叔父の里見実堯、重臣正木通綱を誅殺する。実堯の残党が、北条氏綱に助けを求め。 里見義豊、安房国から真里谷武田惣鑑の下へ逃れる。		
天文 3	1534	4 5 11	里見義豊が里見実堯に討たれる（犬掛合戦）。 義明、武田信隆を討つため出陣する。 真里谷武田氏に内乱が起こる。		
天文 4	1535	6	高基側の原基胤らが義明側に討たれる（小弓野田合戦）。		
天文 6	1537		千葉昌胤、足利晴氏に内応し、義明側から離反する。		
天文 7	1538	10	【第一次国府台合戦】義明・義淳父子と弟の足利基頼が、相模台（松戸市）で北条氏綱に打ち取られる。		
天文 11	1542			7	北条氏綱が死去する。
天文 12	1543	7 同	7月以前に、真里谷武田氏に内乱が起こる。真里谷武田信隆が北条氏と千葉氏から支援を得て、笹子城（木更津市）城主武田信茂を殺害する。 千葉昌胤が真里谷武田氏の内乱において、北条氏支援のために軍勢を派遣する。	8	種子島に鉄砲が伝わる。
天文 13	1544	4	武田信秋が里見氏の支援を得て、後藤氏の中尾城（木更津市）を攻略する。		
天文 15	1546	1 9	千葉昌胤が死去、千葉利胤が家督を継ぐ。 千葉利胤が、真里谷武田信応の援軍を得て、白井城（佐倉市）を攻略する。	4	北条氏康が川越城（埼玉県）の足利晴氏・上杉憲政と上杉朝定の軍勢を破る（河越合戦）。
天文 16	1547	7	千葉利胤が死去し、末弟の千葉親胤が家督を継ぐ。		
天文 18	1549			7	ザビエルが鹿児島に上陸し、キリスト教が日本へ広まる。
天文 19	1550	12	原胤貞、白井城（佐倉市）に入る。		
天文 21	1552	12	北条氏康が真里谷妙泉寺（木更津市）に武田信応の菩提料を寄進する。		
天文 22	1553	6	北条氏に内応した上総の土豪が、上総・安房両国で蜂起する		
天文 23	1554	7	北条氏が正木氏の金谷城（富津市）を攻める。		
弘治元	1555	10 12	正木時茂が小弓原氏領の千葉に侵攻する。 千葉親胤の元服式が千葉妙見社で行われる。		

和暦	西暦	月	房総・鎌倉府関連の出来事	月	国内の出来事
弘治3	1557	8	千葉親胤が死去する。兄の海上（千葉）胤富が家督を継ぐ		
永禄3	1560	5	北条氏康が里見義堯の久留里城（君津市）を攻めるため、近くに陣城を築く。義堯は、越後の長尾景虎に援軍を求める。	5	織田信長が桶狭間の戦いで今川義元を討つ。
		8	長尾景虎、里見義堯の要請に応え、上野国へ出陣する		
		10	正木氏が小見川（香取市）を拠点に、香取・海上郡を占拠する		
永禄4	1561	3	里見氏が国分氏の本拠矢作城（香取市）を攻撃する。	閏3	長尾景虎が上杉の名跡を継ぎ、関東管領となる
永禄7	1564	1	北条氏と里見氏が国府台にて合戦し、北条氏が勝利する（第2次国府台合戦）。		
		5	東金酒井氏、北条氏につく。これより以前、土気酒井氏は北条氏より離反し、里見氏方につく。		
		6	勝浦正木時忠が里見氏方より離反し、同族一宮正木氏を攻撃。一宮城（一宮町）を落とす。		
永禄8	1565	2	北条氏政が土気酒井氏の本拠土気城（千葉氏緑区）を攻撃する。		
		3	北条氏が築田氏の関宿城（野田市）を攻める（第1次関宿合戦）。		
永禄9	1566	3	上杉輝虎（謙信）が小弓原氏の臼井城を攻めるも撤退する（臼井城の戦い）。		
永禄10	1567	8	佐貫城（富津市）の攻略をもくろむ北条氏が、里見氏と衝突し、敗北を喫して退却する（上総三船山合戦）。	8	織田信長が斎藤龍興の稲葉山城（岐阜県）を攻略し、岐阜と改めて本拠とする。
永禄11	1568			9	織田信長が足利義昭を奉じて上洛する。
元亀元	1570	8	里見氏が小弓原氏の本拠小弓城を攻め落とす。小弓原氏は臼井へ本拠を移す。	6	姉川の戦い 織田信長が朝倉・浅井連合軍を破る。
元亀3	1572	12	正木氏が千田庄中村郷妙興寺（多古町）へ制札を与える。	12	武田信玄が遠江三方ヶ原に徳川家康を破る（三方ヶ原の戦い）。
天正元	1573			7	織田信長が足利義昭を京より追放し、室町幕府が滅亡する。
天正2	1574	閏11	築田持助、北条氏政に関宿城を攻略され降伏する。	5	長篠の戦い。織田信長・徳川家康が武田勝頼を破る。
天正3	1575	1	正木憲時、下総矢作城（香取市）を攻める。	10	本願寺顕如、織田信長と和睦する。
天正5	1577	11	これより以前、里見義弘が北条氏に屈し和睦する。		
天正6	1578	5	上総佐貫城（富津市）で里見義弘が死去する。		
天正8	1580	4	佐貫城の里見梅王丸と里見義頼との抗争で、義頼が西上総をほぼ制圧する。夏には梅王丸が降伏、義頼が里見領国を制圧する。		
		7	小田喜城（大多喜町）の正木憲時が義頼に対し、反乱を起こす。		
天正9	1581	12	正木憲時が小田喜城内で家臣に殺害され、反乱が鎮圧されたことを、小田喜にいる足利頼淳の家臣が太田資正に知らせる。		
天正10	1582	8		6	本能寺の変が起こる。同月、羽柴秀吉が山崎の戦いで明智光秀を破る。足利義氏が死去する。
				閏12	
天正13	1585	5	千葉邦胤が家臣に殺害される。後継者争いで千葉氏に内紛が起こる。	7	羽柴秀吉が関白に任じられ、9月には豊臣姓を賜る。
天正18	1590	4	小田原合戦（～同年7月）。豊臣秀吉が北条氏を滅し、千葉氏も滅亡する。		
		7	足利頼淳、左兵衛督を名のる。		
天正20	1592			4	文禄の役（～文禄2年7月）
文禄2	1593	2	喜連川国朝死去。弟の足利頼氏、跡を継いで足利氏姫と婚姻する。		
慶長2	1597			1	慶長の役（～慶長3年11月）
慶長3	1598			8	豊臣秀吉が死去する。
慶長4	1599		この年、足利頼氏長男の足利義親が誕生する。		